

2020年度医学部入試の総括と2021年度の展望

最後のセンター試験で安全志向に！



2020年度医学部入試の最大のトピックスは、大学入試センター試験の実施が最後となったことでした。4月から浪人を決めた人は、来年度は新入試制度の準備をしてきた現役高3生と共に、「大学入学共通テスト」を受験することになります。そうなれば浪人生に不利になる可能性があることから、浪人避けるために受験する大学のランクを下げて安全志向に走る受験生が増えると思われていました。

それでは、どのような医学部入試となったのか見てみましょう。

【センター試験出願者数からみる全体動向】

2018年より18歳人口が減少に転じたことを機にセンター試験の出願者数も減少しています。今春の高校卒業生数は約105万人で、昨年度よりも約1.2万人の減少でした。現役志願者は昨年度と比較すると高校卒業生数と同じ約1.2万人の減少で、その割合は約43%となりました。その結果、現役生・浪人生ともにセンター試験の志願者数は減少することになりました。2021年度は18歳人口が約3万人減少するため、共通テストの志願者数は大きく減少すると予想されます。

◆ 表 1 大学入試センター試験の出願者数の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
総出願者数	約 57.6 万人	約 58.3 万人	約 57.7 万人	約 55.8 万人
現役生	約 47.2 万人	約 47.4 万人	約 46.5 万人	約 45.2 万人
上記以外(主に浪人生)	約 10.4 万人	約 10.9 万人	約 11.2 万人	約 10.5 万人

※大学入試センターのWEBサイトより抜粋

■国公立大学医学部

国公立大学医学部は全部で50大学ありますが、後期日程を実施したのは20大学でした。後期日程は定員や試験科目・配点を考えると、多くの受験生は前期日程に的を絞って受験対策を行います。なお、2021年度は香川大学と愛媛大学で後期日程が廃止となり、ますます後期日程は狭き門となります。

以下は、2020年度の国公立大学医学部前期の入試を振り返ります。

国公立大学医学部 前期日程

2015年度以降、過去6年連続で志願者数は減少しています。

2020年度は、前年比90%、実人数で1,647人の減少となりました。前期日程を実施する医学部は49大学あるので、1大学当たり約34人の志願者が減少したと言えます。志願者倍率(前期総志願者数/前期総定員)は、4.5倍から4.1倍に下がり、倍率だけを考えるとやや緩和されたと言えます。

◆ 表 2 国公立大学 前期志願者数

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
志願者数	18,093 人	17,064 人	16,390 人	14,743 人
前年比	99%	94%	96%	90%
増減数	－ 249 人	－ 1,029 人	－ 674 人	－ 1,647 人

※メディカルラボ調べ

センター試験の平均点

センター試験5教科7科目の理系平均点予想(表3)をみると、2020年度は前年との得点差がマイナス17点と難化しました。教科・科目別の平均点をみると、英語(筆記)はマイナス7.0点、数学IAはマイナス7.8点となりました。両科目ともに大学入試改革を意識した新傾向の問題が出題され、戸惑った受験生も多かったと思います。特に数学IAは100点満点なので7.8%の難化となりました。理系の平均点予想が下がったことにより、志望大学や学部の変更を迫られた受験生もいました。

成績分布は、昨年度と比較すると、得点率80%前後～85%前後の人数が、全体の中でも大幅に減少しています。この層の減少が医学部志願者全体の減少につながりました。

志願者の増減が大きい大学の多くは、前年度の反動や隔年現象によるものです。志願者の前年比の増減が±40%以上の大学は、**弘前大学**、**秋田大学**、**福島県立医科大学**、**信州大学**、**岐阜大学**、**滋賀医科大学**、**和歌山県立医科大学**、**山口大学**、**高知大学**、**宮崎大学**です。(02頁参照)これらの大学は、2021年度は逆の動きをすることが予想されます。

◆ 表 3 センター試験 5教科 7科目の理系平均点予想

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
5教科7科目900点満点 理系平均点予想	562 点	564 点	576 点	559 点
得点率	62%	63%	64%	62%
前年得点差	－2 点	＋2 点	＋12 点	－17 点

※ベネッセコーポレーションの資料より作成

ここ数年は、少子化や医学部が最難関の学部であること、他学部でも就職内定率が非常に高いことが、医学部の志願者の減少につながりました。しかし、今年はセンター試験が最後であったこと、そして平均点が下がったことが、安全志向に向かわせ、これまで以上の志願者の減少となりました。

■私立大学医学部

私立大学医学部は全部で31大学あります。国公立大学と違い、大学が独自に試験日を設定可能なため、試験日が重複しないかぎり、何校でも併願受験が可能です。一般入試の試験日程は、前期、後期、センター利用の3区分です。前期日程は全31大学、後期日程は9大学、「センター利用」は17大学で実施されました。なお、「センター利用」は2021年度から「大学入学共通テスト利用」に変更されます。

以下、2020年度の私立大学医学部の入試を振り返ります。

私立大学医学部 前期日程

5/31時点で公表されている私立大学の志願者数を集計すると、前年比100%でした。2019年度は前年比90%でしたが、これは、センター試験の日程が6日も後ろに移動したことで、私立大学の1次試験の実施期間が短くなり、他校と重複したことによるものでした。2020年度は、2019年度と比較して1次試験日の重複が減ったことと、冒頭で述べた安全志向も影響して、志願者数はほぼ前年並みとなりました。「安全志向」については、国公立大学と私立大学の併願者の増加や私立大学の併願校数の増加が、志願者数の増加につながったようです。

◆ 表 4 私立大学 前期のべ志願者数

※メディカルラボ調べ

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
志願者数	86,134 人	83,673 人	75,256 人 (72,153 人)	72,209 人
前年比	102%	97%	90%	100%
増減数	＋1,961 人	－ 2,461 人	－ 8,417 人	＋56 人

※東京女子医科大、川崎医科大は、5/31時点で未公表のため、2020年度の前年比と増減数は、2019年度から2大学を除いた()内の人数で算出。(2017～2019年度は、全私大31大学の確定値。)

※産業医科大を含む。

私立大学医学部 後期日程

後期日程は、9大学で実施されました。昨年度までの2年間は志願者数が増加していましたが、2020年度は前年比87%と大きく減少しました。大きな原因は、杏林大学が後期日程を廃止したことで、この分を除くとほぼ前年比100%となります。後期日程は、定員以上に合格者を出す大学も多く、また、試験日までどこか他の大学に合格した人が受験しない場合もあるため、早い時期から後期日程まで考えた受験スケジュールを立てておくことをお勧めします。

◆ 表 5 私立大学 後期のべ志願者数

※メディカルラボ調べ

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
志願者数	8,219 人	10,237 人	12,110 人	10,545 人
前年比	97%	125%	118%	87%
増減数	－ 235 人	＋2,018 人	＋1,873 人	－ 1,565 人

私立大学 センター利用日程

昨年度までの数年間、センター利用日程の志願者数は増加を続けていましたが、2020年度は減少に転じました。前述したように、センター試験の志願者数の減少が影響したと考えられます。2021年度からは、センター試験に代わって、共通テストが実施されます。高卒生で共通テスト利用日程での受験を考えている人は注意が必要です。

◆ 表 6 私立大学 センター利用のべ志願者数

※メディカルラボ調べ

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
志願者数	13,944 人	15,336 人	15,541 人	14,566 人
前年比	105%	110%	101%	94%
増減数	＋710 人	＋1,392 人	＋205 人	－ 975 人

【コロナショックで医学部人気が高まる】

新型コロナウイルスの感染拡大は、世界の経済活動に大きな影響を与えています。最近では2008年のリーマンショックなど、戦後、何度かの経済危機がありました。不況になれば失業者が増えて、大学を卒業しても就職が厳しくなります。一般に不景気になると、何らかの資格取得や技術を身につけられる理系学部の人気が高まる傾向があります。その中でも、医学部は長年の医師不足と相まって、志願者が増加する可能性があります。

また、ここ10年くらい、受験生と話をすると医師をめざす理由として、「社会貢献」を挙げる人が増えてきました。新型コロナウイルスの感染拡大の折、毎日、私たちはテレビやインターネットなどで、医療の最前線で戦っている医師を中心とした医療従事者を、リアルタイムで見えています。医師でない人たちの中には、何もできないことへの無力感を感じている人もいるかもしれません。しかし、そのような姿を見て、医師になって社会貢献をしたいと考える人はますます増えるのではないのでしょうか。

■2020年度 国公立大学 医学部医学科 入試結果(推薦・AO入試等を除く)

【前期】	定員		志願者		倍率	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
旭川医科大学	40	41	279	370	7.0	9.0
北海道大学	97	97	366	307	3.8	3.2
札幌医科大学	75	75	320	302	4.3	4.0
弘前大学	70	65	352	638	5.0	9.8
東北大学	77	105	252	354	3.3	3.4
秋田大学	55	55	364	200	6.6	3.6
山形大学	65	75	270	282	4.2	3.8
福島県立医科大学	80	67	270	454	3.4	6.8
筑波大学	68	74	176	209	2.6	2.8
群馬大学	71	73	202	279	2.8	3.8
千葉大学	97	97	363	329	3.7	3.4
東京大学	97	97	413	405	4.3	4.2
東京医科歯科大学	81	82	344	322	4.2	3.9
横浜市立大学	74	80	240	337	3.2	4.2
新潟大学	80	85	344	508	4.3	6.0
信州大学	95	100	372	625	3.9	6.3
富山大学	60	60	244	329	4.1	5.5
金沢大学	84	84	312	241	3.7	2.9
福井大学	55	55	261	219	4.7	4.0
岐阜大学	37	32	410	270	11.1	8.4
浜松医科大学	75	75	389	362	5.2	4.8
名古屋大学	90	90	295	250	3.3	2.8
名古屋市立大学	70	70	194	186	2.8	2.7
三重大学	75	75	298	271	4.0	3.6
滋賀医科大学	60	75	243	434	4.1	5.8
京都大学	105	103	278	298	2.6	2.9
京都府立医科大学	100	100	249	301	2.5	3.0
奈良県立医科大学	22	22	163	205	7.4	9.3
和歌山県立医科大学	79	79	172	387	2.2	4.9
大阪大学	95	95	279	230	2.9	2.4
大阪市立大学	80	80	205	278	2.6	3.5
神戸大学	92	92	250	279	2.7	3.0
鳥取大学	79	65	386	454	4.9	7.0
島根大学	58	62	453	372	7.8	6.0
岡山大学	98	98	377	327	3.8	3.3
広島大学	90	90	484	591	5.4	6.6
山口大学	55	60	309	192	5.6	3.2
徳島大学	64	64	151	218	2.4	3.4
香川大学	59	59	287	270	4.9	4.6

■2020年度 私立大学 医学部医学科 入試結果(推薦・AO入試等を除く)

【前期】 センター利用の地域枠を除く	定員		志願者		倍率	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
岩手医科大学	85	90	2,420	2,951	28.5	32.8
東北医科薬科大学	100	100	1,642	1,740	16.4	17.4
自治医科大学	123	123	2,728	2,534	22.2	20.6
獨協医科大学	58	65	2,095	2,484	36.1	38.2
埼玉医科大学	52	52	1,974	1,580	38.0	30.4
国際医療福祉大学	105	105	2,887	2,948	27.5	28.1
杏林大学	98	91	2,290	2,160	23.4	23.7
慶應義塾大学	66	68	1,391	1,528	21.1	22.5
順天堂大学	68	71	2,255	2,284	33.2	32.2
昭和大学(Ⅰ)	75	78	2,643	3,566	35.2	45.7
帝京大学	98	100	8,441	7,343	86.1	73.4
東京医科大学	75	38	1,916	966	25.5	25.4
東京慈恵会医科大学	110	110	1,963	2,011	17.8	18.3
東京女子医科大学	※	75	※	1,661	※	22.1
東邦大学	90	115	2,789	2,673	31.0	23.2
日本大学	107	102	3,681	3,979	34.4	39.0
日本医科大学	97	90	2,551	2,287	26.3	25.4
北里大学	74	84	1,970	1,902	26.6	22.6
聖マリアンナ医科大学	80	85	2,355	1,899	29.4	22.3
東海大学	60	60	3,659	4,961	61.0	82.7
金沢医科大学	65	65	3,038	2,440	46.7	37.5
愛知医科大学	65	65	2,360	2,382	36.3	36.6
藤田医科大学	80	80	1,742	1,632	21.8	20.4
大阪医科大学	84	89	1,871	1,886	22.3	21.2
関西医科大学	72	86	1,796	2,050	24.9	23.8
近畿大学	67	65	1,282	1,327	19.1	20.4
兵庫医科大学	95	95	2,069	2,003	21.8	21.1
川崎医科大学	※	76	※	1,442	※	19.0
久留米大学	75	85	2,056	1,853	27.4	21.8
産業医科大学	85	85	1,616	1,868	19.0	22.0
福岡大学	60	70	2,729	2,916	45.5	41.7

●上記は5月31日時点で大学が公表している志願者数です。「※」はその時点で未公表。「－」はその年度は実施せず。日本医科大 2020 年度前期の定員と志願者数には、地域枠前期と後期の合計定員16名と志願者数422名を含む。

【前期】(つづき)	定員		志願者		倍率	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
愛媛大学	40	40	306	228	7.7	5.7
高知大学	60	60	400	264	6.7	4.4
九州大学	110	111	271	356	2.5	3.2
佐賀大学	50	50	272	283	5.4	5.7
長崎大学	76	76	284	395	3.7	5.2
熊本大学	90	95	487	529	5.4	5.6
大分大学	65	65	285	286	4.4	4.4
宮崎大学	50	50	226	424	4.5	8.5
鹿児島大学	69	69	332	359	4.8	5.2
琉球大学	70	70	264	381	3.8	5.4

【後期】	定員		志願者		倍率	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
旭川医科大学	8	15	287	601	35.9	40.1
秋田大学	20	25	338	419	16.9	16.8
山形大学	15	15	192	209	12.8	13.9
福島県立医科大学	－	23	－	519	－	22.6
千葉大学	20	20	373	360	18.7	18.0
東京医科歯科大学	10	10	168	202	16.8	20.2
山梨大学	90	90	1,107	1,294	12.3	14.4
富山大学	20	20	301	326	15.1	16.3
福井大学	25	25	393	252	15.7	10.1
岐阜大学	25	35	645	786	25.8	22.5
浜松医科大学	15	15	221	128	14.7	8.5
名古屋大学	5	5	55	67	11.0	13.4
三重大学	10	10	121	138	12.1	13.8
奈良県立医科大学	53	53	969	797	18.3	15.0
鳥取大学	－	20	－	294	－	14.7
広島大学	－	5	－	107	－	21.4
山口大学	10	10	214	381	21.4	38.1
香川大学	25	25	433	476	17.3	19.0
愛媛大学	25	25	432	315	17.3	12.6
佐賀大学	10	10	215	204	21.5	20.4
宮崎大学	20	20	359	387	18.0	19.4
鹿児島大学	23	23	261	363	11.3	15.8
琉球大学	25	25	321	456	12.8	18.2

【後 期】	定 員		志 願 者		倍 率	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
埼玉医科大学	35	36	2,259	2,461	64.5	68.4
杏林大学	—	10	—	1,439	—	143.9
昭和大学(Ⅱ)	20	20	1,497	1,722	74.9	86.1
日本医科大学	17	21	1,201	1,375	70.6	65.5
金沢医科大学	10	10	1,585	1,543	158.5	154.3
藤田医科大学	10	15	818	716	81.8	47.7
大阪医科大学	15	15	768	871	51.2	58.1
関西医科大学	10	6	691	461	69.1	76.8
近畿大学	5	5	785	655	157.0	131.0
久留米大学	5	5	941	867	188.2	173.4